

**質疑**

一番高い業者が落札したが、ごうがすぐれているのか。会社が倒産した場合や、構成している会社が倒産した場合、どんな影響が出るのか。

**答弁**

事業計画の部分では、実施計画の実施体制や財務のモニタリングは差がなかったが、資金の調達、返済計画、リスク管理について、優位が目立った。維持管理、運営は、アレルギー食への対応、安全性全般のチェック体制、配送時の事故などのトラブルのフォローの体制、維持管理に専任の担当者を常駐させるなど全体的に手厚い計画がなされていた。

構成している企業の親会社が倒産しても、新たに別の株式会社として立ち上がっている。直接的に影響を受けることはない。設立会社は、預金の管理、通帳管理を百五銀行と委託契約をしており、経営状態について常にチェックをかけている。健全性は保たれるのではないか。

**質疑**

15年後に戻ってくるときは、幾ら投入が必要なのか、その後どう運営していくのか。

**答弁**

15年後の施設の返還については、契約終了3年ほど前から、市が大規模な修繕を行う。市に返還する時点で、要求水準を満たす状態で引き渡しとしているが、そうでない場合は、その場で協議する形になっている。



**一般会計補正予算**

補正額 6千374万1千円  
総額 218億7千974万1千円

**主な内容**

人事異動等による給料並びに職員手当、共済費等の人件費、選挙開票事務に使用する投票用紙自動仕分け装置の購入経費、市制5周年記念植樹事業費などです。

**質疑**

理科支援員配置事業及び学習サポーター派遣の内容は。

**答弁**

理科支援員の配置事業は、西川端小学校が指定を受けた。理科支援員(大学生とか退職教員)を小学校5・6年生の理科の授業に配置し、観察、実験活動の充実及び教員の資質向上を図る。

学習サポーター派遣事業は、市江小と佐屋中学校の通常学級へ学習サポーターを派遣する。通常学級に通う障害児の支援は、佐屋小、立田中に行う。

**質疑**

一般会計全体で、職員が1人就職しなかったにもかかわらず、なぜ給料の全体のアップになっているのか。共済金や退職金は、給与に対して掛け率で掛けられているので、同じような金額になるのは不自然ではないか。

**答弁**

予算を積算する段階におい

て、共済費は、共済費の額の変更通知が予算編成以後に来て、昨年そのまま予算計上した。事務負担金の関係は、今年度は1人当たり1万50円となり、計上を漏らした。職員の退職手当組合の負担金の関係では、2年ごとに引き上げることが決められており、負担率1千分の150が1千分の160に新たに引き上げとなっているにもかかわらず、予算積算時にそのままやってしまった。

**答弁**

地方税法の改正に伴って、それに即した形で愛西市の国保条例の一部改正を提案した。対応できない。

**介護保険特別会計補正予算**

**保険事業勘定**

補正額 △133万3千円  
総額 35億824万1千円

**サービス事業勘定**

補正額 △128万6千円  
総額 4千53万2千円

**国民健康保険特別会計補正予算**

**事業勘定**

補正額 191万5千円  
総額 70億1千43万4千円

**直営診療施設勘定**

補正額 △46万6千円  
総額 1億5千730万9千円

**質疑**

今回、法改正に伴い、非自発的失業に関しては、軽減措置がとられたが、離職票のあ

るなしにかかわらず、同じような条件で対応することが必要ではないか。

**農業集落排水事業等特別会計補正予算**

補正額 340万2千円  
総額 8億2千606万1千円

**公共下水道事業特別会計補正予算**

補正額 △171万5千円  
総額 10億8千920万1千円